

水稻栽培情報 8 月号

令和 8 年 7 月 1 6 日

J A 柳 川

南 筑 後 普 及 指 導 セ ン タ ー

【水稻】

本年産水稻は移植後の曇天とその後の晴天続きで、草丈が長く茎数が多い傾向にあり、過剰分げつによる品質低下が懸念されます。適正籾数確保と充実向上のため、適切な中干し、肥培管理を行ってください。すでに茎数が 20 本/株を超えているほ場も見受けられますので、生育状況を確認し、中干しを開始してください。

1 中干し

中干しは、無効分げつの抑制や倒伏防止のため、生育状況を確認して適切に行います。昨年産は、中干しの遅れたほ場が多く見受けられました。そのため、**茎数が 18 ～20 本/株(片手で軽く握れる程度)になっていることを確認して中干しを行います。**

6 月 23～25 日、7 月 1 日の大雨により冠水したほ場では、反対に生育が遅れているほ場もあるため、ほ場毎に茎数を確認して中干しを行います。

品種	中干し開始時期（目安）
元気つくし、ヒノヒカリ、 実りつくし、ヒヨクモチ	7 月 20 日頃から

※「元気つくし」、「実りつくし」：6/20 移植、
「ヒノヒカリ」、「ヒヨクモチ」：6/24 移植の場合の目安です。

※「元気つくし」、「実りつくし」は、倒伏軽減のため田面が白乾しない範囲で”強めの中干し”を実施しましょう。

2 水管理

穂ばらみ期から穂揃期は、生育期間中で最も水を必要とする時期です。穂揃期以降は、根の機能維持のため、間断かん水（3～4 日おきに湛水と落水を繰り返す）を行います。日中水温が高温になるため、水の入れ替えを行います。また、台風の接近等で強風の恐れがある場合は、深水にして稲体を守ります。台風通過後も数日は水分の蒸散が激しいため、湛水状態を継続します。

3 施肥

穂肥時期の目安と施肥量は、以下のとおりです。適正籾数確保と充実向上のため、水稻の生育に応じた適切な肥培管理を行います。

(kg/10a)

品 種	穂肥①時期 (追肥一発も同時期)	穂肥①	穂肥②	出穂期 (予想)
		N K 化 成 2 号		
夢つくし	7 月 25 日 頃	15	—	8 月 12 日 頃
元気つくし	7 月 31 日 頃	15	10	8 月 18 日 頃
ヒノヒカリ	8 月 8 日 頃	15	—	8 月 26 日 頃
実りつくし	8 月 13 日 頃	15	10	8 月 31 日 頃
ヒヨクモチ	8 月 18 日 頃	20	15	9 月 5 日 頃

※穂肥①及び出穂期の時期は、「夢つくし」：6/15 移植、「元気つくし」、「実りつくし」：6/20 移植、「ヒノヒカリ」、「ヒヨクモチ」：6/24 移植の場合の目安です。
幼穂長が5mmになっていることを確認しましょう。
※穂肥②は穂肥①の1週間後に施用します。
※葉色が濃い場合は施肥時期を遅らせるか、施肥量を減らします。

農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベル（①適用作物、②使用量や希釈倍数、③使用時期や総使用回数、④有効期限）等を確認！
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！
- 3 散布後は必ず散布器具(タンク、ホース等)を洗浄！
- 4 防除履歴の正確な記帳！